

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	宇都宮大学 オプト-バイオシンポジウム 会場：宇都宮大学 (陽東キャンパス)
演題名	ユーグレナの屋外培養における培地中窒素濃度の経日変化の解析
発表者	○ <u>田島一水</u> ★[1]、 <u>水島翼</u> ★[1]、 <u>加藤翔太</u> **[1]、 <u>篠村知子</u> [1] (植物分子細胞学研究室) [1]帝京大・理工
内容	<p>微細藻類ユーグレナを原料とするバイオ燃料の生産性を向上させる方法の一つに窒素制限培養法が提唱されています。本研究では、光独立栄養培地であるCM培地及び窒素濃度を1/10にしたCM改変培地を用い、屋外ガラス温室において自然光下でユーグレナを培養し、細胞増殖および培地中窒素濃度の経日変化を解析した結果を報告しました。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H28年度の本研究室の卒研究生 (★)、大学院生および博士研究員 (**)も参加して活発な研究交流を実施しました。</p>
関連画像	